

協会けんぽの令和元年度決算見込み(医療分)について

＜協会会計と国の特別会計との合算ベース＞

令和 2 年 7 月 3 日

全国健康保険協会

＜全体の収支状況＞

- 令和元年度は収入(総額)が 10 兆 8,697 億円、支出(総額)が 10 兆 3,298 億円となり、収支差は 5,399 億円となりました。

＜収入の状況＞

- 収入(総額)は前年度から 5,235 億円の増加となりました。主に「保険料収入」が 4,510 億円(4.9%)と大幅に増加したことによるものですが、これは主に、保険料を負担する被保険者の人数が 4.4%増加したこと、被保険者の賃金(標準報酬月額)が 0.7%増加したことが要因です。(なお、被保険者の人数の伸び+4.4%は、協会による医療保険の運営が始まった 20 年度以降で最も高い伸びです。しかしながら、この+4.4%のうち、+2.1%は大規模健康保険組合(人材派遣健康保険組合等)の解散による一時的な影響であり、この影響を除くと、近年、保険料収入を増加させていた被保険者数の伸びについては、29 年度をピークに鈍化が続いています。)

＜支出の状況＞

- 支出(総額)は前年度から 5,785 億円の増加となりました。
- 支出の 6 割を占める保険給付費(総額)については、前年度から 3,653 億円(6.1%)増加しました。これは、1人当たり医療給付費の増加に加えて、大規模健康保険組合の解散の影響等により、加入者数が大幅に増加したことが要因です。
- 支出の 4 割を占める高齢者医療に係る「拠出金等」については、1,254 億円増加しました。これは、高齢者医療費の伸びや、退職者給付拠出金の減少額が少なくなったことなどが要因です。